

区政のここが聞きたい

● 第4回定例会一般質問(要旨) 11月27・28日 ●

※本会議、常任委員会、特別委員会、議会運営委員会及び予算・決算特別委員会の録画映像を、区議会ホームページで公開しています。

平成のその先の時代へ 持続発展しつづける 豊島区を目指して



自民党豊島区議員
竹下ひろみ

●法令遵守のための内部統制と組織体制について

問 今年に入って個人情報不適切な取扱い等の報告を相次いで受けた。コンプライアンスを求められる現状への区の認識は、

答 区政への信頼が揺らぎかねない重大事態であり、最大の危機感を抱いている。全職員が緊張感を持ち業務を遂行するよう育成・指導していく。

問 様々な課題を踏まえた上で内部統制の方針と体制整備は、

答 既にある内部統制機能を再評価・改善、運用する。目的に応じた様々な内部統制機能をリスクマネジメント推進本部の下で把握できる体制を整備する。

問 リスクマネジメントの観点から職員の役割は重要となる。削減ありきの職員定数の考えは見直す時期と考える。

答 中長期的な視点で、削減ありきではない総合的な定員管理の在り方について検討する。

問 雇用形態にかかわらず、全ての職員に柔軟性を持ち合わせた迅速・的確な人材育成が必要と考える。今後の展開は、

答 新たな研修の仕組みやメニューを採り入れ、職員一人ひとりの能力や資質の向上を図る。

●池袋保健所移転後の跡地活用について

問 当該地は、まさに一層の広がりを生み出すためハード・ソフト両面でのにぎわい創出が必要。プロポーザルでの売買価格と事業内容のバランスは、

答 ハレザ池袋との連続性や一

体性を十分念頭に置き、国際アット・カルチャー都市を踏まえた事業展開、ブランド力の向上、外観デザイン、歩行者空間の確保等に取り組む。価格3割、事業内容7割と、事業内容を重視したバランスで配分し決定する。

問 まちづくりと一緒に考える姿勢の事業者を選定するため、審査にどう反映・加味するのか。

答 「まちづくりへの協力・貢献」「安全・安心及び環境配慮」などの評価項目を全体の1/4の配点とし、厳正に審査する。

●「造幣局跡地の防災公園」について

問 誰からも愛される名称を公募することについて提案したい。

答 区民参加の点からも意義がある。末永く愛される名称が付くよう前向きに取り組む。

●ハレザ池袋の進捗について

問 ハレザ池袋、中池袋公園、区民センター等の管理者において日常時及び非常時の誘導や帰宅困難者対策はどう連携するのか。地元事業者や住民との協力による避難訓練等も行うべき。

答 日常の案内は各事業者が行うが、混雑緩和や緊急時に備えた避難誘導は、各管理者及びエリアマネジメントが合同の会議体等を組織し、安全安心なイベント等を立案実践する。帰宅困難者対策は、建物を活用する協定の締結に向けた協議を行っている。合同避難訓練も、11月に立ち上げる協議会の組織化の過程で積極的に検討する。

●入札制度について

問 地元企業の育成のため、総合評価入札における価格点の検討をお願いしたい。

答 現在の100点から90点に引き下げるとともに、価格点以外の評価点を入札結果により多く反映できるようにする。

問 高齢者、障害者、女性の雇用比率を上げるため、地域貢献点のメニューを増やす検討を。



(仮称) 造幣局地区防災公園イメージ

希望あふれる元気な街、 豊島をめざして



公明党
木下 広

●ICTを活用した区民サービスについて

問 第三次行政情報化計画の進捗と効果、課題に対する認識は、

答 H Pの多言語化等により、情報提供の充実化が図られた。

ある。末永く愛される名称が付くよう前向きに取り組む。

●ハレザ池袋の進捗について

問 ハレザ池袋、中池袋公園、区民センター等の管理者において日常時及び非常時の誘導や帰宅困難者対策はどう連携するのか。地元事業者や住民との協力による避難訓練等も行うべき。

答 日常の案内は各事業者が行うが、混雑緩和や緊急時に備えた避難誘導は、各管理者及びエリアマネジメントが合同の会議体等を組織し、安全安心なイベント等を立案実践する。帰宅困難者対策は、建物を活用する協定の締結に向けた協議を行っている。合同避難訓練も、11月に立ち上げる協議会の組織化の過程で積極的に検討する。

●入札制度について

問 地元企業の育成のため、総合評価入札における価格点の検討をお願いしたい。

答 現在の100点から90点に引き下げるとともに、価格点以外の評価点を入札結果により多く反映できるようにする。

問 高齢者、障害者、女性の雇用比率を上げるため、地域貢献点のメニューを増やす検討を。

答 重要な視点。23区の状態等を踏まえ、早急に検討する。

答 アプリコンテスト開催は大きな効果があると考えます。今後、都や他区の事例等を研究する。

●医療、介護等の患者データの共有を図るため、PC機器等の整備や回線使用料等の支援を。

答 地域医療・介護ネットワーク構築事業により、タブレット端末の貸与や回線使用料を区の予算の範囲内で補助する。

●防災対策について

問 災害時の救援センターとなる区立小中学校体育館の冷暖房整備の見込みと、今年度中に冷暖房化したリース契約について

答 都の財政支援を受けながら来年度中に全小中学校に導入する。今年度のリースについても財政支援の趣及を都に要望する。

●消防署の協力のもと、小・中・高・大と切れ目ない防災教育プログラムを構築し、「防災の担い手」作りが必要と考えるが、

答 現在の小・中での取組を広げ、消防等関係機関の協力を得て、検討に一歩足を踏み込む。

問 他区を参考に、本区でも商店や家屋等の水害対策の一助に止水板設置助成を実施すべき。

答 区民のニーズについて幅広く情報を収集し、検討していく。

区民の生存権を保障する 区政を



日本共産党
渡辺くみ子

●区長の政治姿勢について

問 憲法9条改憲に日本共産党区議団の区民アンケートでは、62%が反対している。区民の平和への願いを守るため、憲法9条改憲に反対を表明すべき。

答 国民的議論が尽くされていない中、現時点では現憲法を遵守する姿勢で区政を推進する。消費税は低所得者に重い負担を強いる逆進的税金。世論でも消費税10%導入に反対が半数

問 区内中小企業が軽減税率に対応したレジの導入やシステム改修に対し、国や都と連携し、身近な相談体制の構築を。

答 要検討だが、説明会等の機会や電話、窓口相談による充実・強化を図っていく。

問 プレミアム付き商品券の発行を提案。低所得者対策、区内中小商店経済活性化として効果的な取組となるよう調査研究を。

答 国の動向を注視し、分析や準備を急ぐ。発行の場合には東アジア文化都市開催と連動した実施手法や効果も検討する。

●女性のがん患者支援の「アピアランスケア」について

問 池袋保健所移転時に設立を提案する女性健康支援センターに「アピアランスケア」機能を組み込むことを要望する。

答 来年度からの実施に向け、相談体制のあり方や購入助成制度創設等の検討を進めている。



がん対策推進キャラクター
「ななまるレンジャー」

※地域医療・介護ネットワーク構築事業…在宅療養患者支援体制整備のため、ICT活用による医療介護連携推進、チームによる24時間診療体制構築等に資する区医師会の取組に要する経費を補助し、区民の在宅療養生活の質・量的な充足を目指す事業。 ※アピアランスケア…がん治療の副作用として髪や肌、爪など身体各部へ影響が及ぶことによる患者の外見変化をケアするための支援のこと。

を超えている。消費税10%導入には反対すべき。

●来年度予算編成について
池袋駅周辺の不要不急の来街者のための投資を推進する余地はない。予算編成は、区民生活に根差し区民需要に見合ったものへ予算を大幅に増やすべき。

●魅力あるまちづくりを進める
投資は高い水準で推移するが、区民需要の充実に最優先に位置付けていることにご理解を。

●高すぎる国民健康保険料に
対し、区独自の支援策として、ひとり親家庭、多子世帯への保険料軽減策の実施を強く求める。

●全国的に解決すべき課題で
あり、独自の軽減策は実施しない。国への要請を強める。

●住民主体のまちづくりについて
(南池袋2丁目地区、東池袋4・5丁目地区)
南池袋2丁目C地区について、事業計画決定がなければ地権者に何も示さないという再開発の手法が間違っている。地権者が納得いくよう対応すべき。

●再開発準備組合が地権者に
個別ヒアリングを実施しており、区としても、公平公正の立場から指導・助言していく。

●東京都の補助81号線沿道整備
は、騒音や都電の踏切の削減等について近隣住民から不安や怒りの声が上がっている。しか

さらなる豊島区の安全安心環境のために



民主ネット
大谷 洋子

●学校体育館冷暖房化の取り組みについて

し都は対応せず。近隣住民の声を聴き常に検討すべき。

●苦情は認識しており、今後も地域住民の声を聴き東京都とともに取り組んでいく。

●都市づくり公社は東池袋4丁目C街区に14階建て共同化計画を一方的に示した。現在、住民の批判の声で見直しとなっているが、まちづくりは住民と共に行うもの。区も関わるべき。

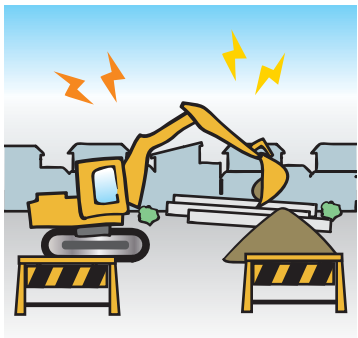
●公社への様々な指導を行う等、積極的に関わっている。

●東池袋4丁目C街区周辺では、多くの工事が同時に行われ住民から悲鳴が上がっている。常に住民の生活全体を見て工事計画を立てるべき。

●軽減を図るよう積極的に対応していく。

●保健所の移転計画は、区民への説明がないばかりか、移転先住民への説明もない。住民合意もないうまま、一方的に計画が進められているのはなぜか。

●パブリックコメント実施や広報による周知を図っている。住民説明会は、基本計画等がまとまる来年1月に開催予定。



同時に行われる工事

●学校体育館の冷暖房設備の動力源について、現在の計画は、電力を中心に都市ガスも併用を検討している。

●ランニングコストの低い設備機器を導入し、コスト抑制を。

●体育館が避難所となる場合、復旧スピードが最優先される必要性があるため、電力中心の導入計画としている。

●高齢者の住宅施策について
文京区は住宅の確保に配慮を要する高齢者等のために、居室に緊急通報装置を設置し、区が支援して住宅を確保する施策を実施。本区も高齢者が安心して住宅を確保できるよう積極的な施策の実施を提言する。

●文京区の施策の視点も取り入れる等、住宅施策の充実に向けて検討していく。

●さくらに関して(苗木と管理問題)
駒込六丁目の桜の苗木を管理する土地から他自治体に贈呈したことを、表示看板等での掲示を地元が要望しているが、

●大きさやデザインを地元と相談の上、掲出に向け検討する。



門と蔵のある広場

●ワシントンから寄贈され、今年2月に門と蔵のある広場に植樹された桜に、駒込小学校児童から募り名称をつけては、

●名づけ親の提案は児童や地域住民など広く募集し、桜のイベントでの発表等を検討する。

●保育の問題について
保育所の環境について、調査、監査の内容及び結果に対する監督、指導の実施状況は、

●施設長への聞き取りや資料による職員の適正配置等100項目の検査を行う。検査終了後、問題点を口頭指導する他、重大な事項は文書で指摘し、改善の報告書の提出を求めている。

●非認知的能力が形成される大切な時期に過ごすのが保育所である。調査の幅を広げ、指導啓発に努め、環境整備の徹底を。

●区立保育所の園長経験のある職員が施設の巡回指導を行い、適正な運営の確保に努めている。

●新しい保育指針で、充実した教育・保育に向けての取組は、

●豊島区アプローチ・スタート・カリキュラムの活用等。

●保育料無償化による保育現場の困窮防止対策と、教育の現場力を発揮できる配慮を。

●保育施設の整備による量の確保と保育の質の向上に努める。

●働き方に関わる取り組みについて
人事評価制度と指定管理者制度導入による主な成果は、

●職員のモチベーション向上や行政サービスの質の向上等。



都民ファーストの会
里中 郁男

●ソメイヨシノ発祥の地、駒込地域の一層の発信策について

●10月に開催された「全国さくらサミットin豊島」の目的及び成果は、

●「桜」をシンボルに掲げてまちづくりを行う自治体の情報交換を目的としている。サミット開催がマスコミに取り上げられる等、ソメイヨシノ発祥の地のPRに大変効果的であった。

●地元で育てた苗木を全国各地に植樹し、豊島区発祥をPRしているが、今後の植樹予定は、

●12月に埼玉県越生町への植樹を予定、豪雨被害により延期となった広島県熊野町への植樹は年度内で調整中。

●区で考えているソメイヨシノ発祥に関するPR手法は、

●北口路上美術館へのパネル展示やポストカード頒布、苗木を育てる過程の動画配信、区内の桜の名所のVR動画配信、駒込図書館のデジタルアーカイブを充実させる。今後は区民を対象とした出前講座を開催する。

●区内で桜イベントを実施し

●豊島区におけるネットワーク環境の現状について

●公衆無線の整備状況は、一定程度カバーできてきている。

●池袋駅周辺については、一定程度カバーできてきている。

●緊急災害時にも対応できる地域通信ネットワーク整備について

●災害時でもつながりやすく、平素はフリーWi-Fiとして利用できる、無線基地局を利用した通信である地域BWAについて、豊島区でも推進すべき。

●地域BWAの整備について、

●「(仮称)ソメイヨシノ発祥PR連絡会議」を発足し、PR等の連携を強めていく。

●インバウンド対策としての桜に関する取組は、

●HPで桜の名所等を7言語で紹介、外国人目線の観光マップも中国語で発行している。また、接ぎ木体験や桜の押し花カードづくり等、体験型観光プログラムを検討していく。

●郷土の誇りである桜の発信策に子どもも参加させる考えは、

●教育委員会と連携し、児童・生徒を成長させる方法を検討。



ソメイヨシノ



無所属元気の会
小林 弘明

●Wi-Fi環境整備の推進で実現する、緊急災害時対策。子どもからお年寄りまで安全・安心のまちづくりを。



フリーWi-Fi

●豊島ケーブルネットワーク(株)と合意。災害時の通信手段をさらに向上できたと考える。

●豊島区指定避難場所・公園

※非認知的能力…感情や行動のコントロール、粘り強さ等の能力のこと。 ※豊島区アプローチ・スタート・カリキュラム…幼児期から小学校教育につなげる指導をアプローチカリキュラム、小学校入学後の入門期の指導をスタートカリキュラムと位置付け、幼稚園・保育園、小学校、中学校の各接続期の指導の充実を図るためのプログラム。

や学校といった防災拠点すべてにWi-Fiを整備していくべき。

すべての人が学び、豊かに暮らせる豊島区へ



虹としま
石川 大我

●多様な学びの場の確保について

法律はすべての地方公共団体に夜間中学校における就学機会の提供等の措置を義務付ける。本区が独自に設置することの必要性について教育長の考えは。

●人生の段階においても学びの機会が保障されることは非常に重要。今後の情報収集と研究を待ちたい。

夜間中学校の開設は、国際アート・カルチャー都市を標榜する豊島区にとって、外国籍区民の増加、不登校児童・生徒数の推移等を踏まえれば、大きく



多様な学びの場、確保を!

みんなで築く、豊島の未来



自民党豊島区議員
藤澤 愛子

●防災について

災害時の業務継続計画及び受援計画の策定の進捗状況は。

業務継続計画は非常時優先業務を精査し、年度末の改定に向け取組中。来年度は、受援計画の策定に向けて検討を進める。

現地連絡調整所等の活動拠点を設置、運営する動線やその周辺の安全確保についての区民の考えは。また、歩行者、車両等の混乱により、災害時の復旧復興に遅れが出ないように検討を。

活動拠点とその周辺の安全確保は大きな課題。警察とも連携し、地元協議会と検討を進める。また、都立施設等を帰宅困難者の一時滞在施設と位置付け、帰宅困難者の一斉帰宅の抑制に取り組み、緊急通行車両の通行確保、迅速な災害対策に努める。

改築する学校や改修する公園についても整備を進めていく。

求められる。開設に向けたニーズ調査を実施すべきと考える。

国の計画で「多様なニーズに対応した教育機会の提供、夜間中学の設置・充実」を掲げている。調査実施の方向で考える。

池袋を走るアドトラック(広告宣伝車)には、公共空間にそぐわないものもある。訪れやすく働きやすい環境づくり、風紀を乱すアドトラックが似合わないまちづくりの推進を望む。



ホームドア、点字ブロックの設置された駅のホーム



今を見つめて、未来を創造する街・豊島



公明党
島村 高彦

●防災・減災対策について

災害時にあらかじめ定められた自分の役割を認識し、実際に行動できる町会員やこうした役割があることを知っている区民はどの程度いるのか。

合同防災訓練で各班を実際に設置し、役割を説明。課題は、訓練に参加したことのない住民が救済センターの各班の役割を認識していないことである。

町会等から、防犯カメラ設置の要望がある。今後、全公園への設置に向けて取り組む。

池袋を走るアドトラック(広告宣伝車)には、公共空間にそぐわないものもある。訪れやすく働きやすい環境づくり、風紀を乱すアドトラックが似合わないまちづくりの推進を望む。

それらのほとんどは都外からのもので、広告規制に有効な方策はないが、まちの品格を落とすものは、警察等と緊密に連携し、撲滅に向けて取り組む。

鉄道会社、他自治体等と連携し、鉄道踏切や駅ホームの安全対策の継続を求める。

踏切の注意喚起の路面表示、駅ホームではホームドアや点字ブロックの設置等、鉄道会社等と協力し進めていく。

児童虐待防止について
一時保護所利用の事例を分析し、今後予想される傾向を踏まえた施設整備を求める。

利用の事例では、虐待が6〜7割を占め、今後もこの傾向が想定される。対人関係、衣食住など家庭的な環境づくりに配慮した施設の整備を目指す。

児童養護施設等の設置について、また、今後設置予定の施設、制度の実施に際する安全性の確保について、区の考えは。

住み慣れた区内での養育が重要。乳児院、児童養護施設の誘致に取り組む一方、他自治体との広域的な調整も考慮する。

自分自身を大切にする価値観に基づく、年齢に合わせた指導や性教育の実施は大切。生きる力を養う教育について伺う。

区では「命の教育」を重視。命の大切さ、互いの命を尊重する教育を行い、命を軽んじる風潮を払しょくし、適切な行動をとれるよう指導している。

所での集合訓練が中心だが、今後は町内を移動しながらの訓練をより多くの町会で徹底すべき。

極めて実践的で、町会の方の防災意識の向上にもつながる。各町会の意見も踏まえ実施要領を検討していく。

小規模公園活用プロジェクトにも防災機能の整備充実を組み込むべきと考えるが、地域防災計画との整合を図り、プロジェクトの検討事項に加

え、設備の充実の方策を検討。避難行動要支援者等の安否確認、援護体制の整備のため、連絡会の設置・運営についての検討状況と結果は。

連絡会は、設置していないが、モデルケースとなるような町会の活動等も踏まえ検討する。

福祉施設を合わせた面積は、約4万5千㎡で防災機能や安全性にも配慮した施設。

霊園とみんなの公園の連携による機能拡充を都に要請したが、その結果は。

西ヶ原みんなの公園は、「染井墓地・駒込中学校一帯」の一部として避難場所に指定された。

霊園周辺道路の整備についての見解及び今後の方針は。

補助81号線から霊園に至る区間は、居住環境総合整備事業を活用して整備を実現したい。

国道17号線から霊園と豊島市場の間の道路の拡幅は今後の課題。

人と動物が共生できる社会について

これまでの地域猫活動中心メンバーの活力を削いでしまうと、指定外の猫が増え、殺処分に向かう猫が増えるのでは。

地域の活動を支援し、殺処分の数を減らすことにさらに貢献してまいりたい。

区は都のように殺処分ゼロを掲げていないが、区としても殺処分ゼロを掲げたい。



防災訓練

災害時の停電、都市ガス停止時でも、学校体育館の空調機が機能するように、ガスヒートポンプエアコンを導入すべき。

LPガス切り替え装置等のスペースの確保など、所要の条件を満たす施設については、非常時に切り替えて冷暖房が行えるよう検討していく。

プロパンガスは、災害時に利便性が高い。全国LPガス協会との災害協定締結の考えは。

他自治体の例を参考に協定締結を検討していく。

避難場所と周辺道路の整備について

北区西ヶ原みんなの公園は、避難時の有効面積が染井霊園より広く、安全性も高いと考えられるのでは。

区民生活を直視し、命と暮らしを守る区政に転換せよ

住宅施策について

策定中の「豊島区住宅マ

策定中の「豊島区住宅マ

策定中の「豊島区住宅マ

策定中の「豊島区住宅マ



日本共産党
清水みち子

策定中の「豊島区住宅マ

*カーボン・オフセット…経済活動等から排出されるCO2等の温室効果ガスについて、削減努力しても削減が困難な部分と、削減活動に投資すること等により削減された部分とを相殺する考え方。

タープラン」は区の住宅施策の羅針盤。区民が求めているのは良質で低廉な家賃の公営住宅であるにもかかわらず、これまであった「公的住宅等の新規供給数」がなくなつた。区民需要に基づき供給計画を示せ。

答 新規供給数を示すことはなじまない。

問 高齢者、ひとり親家庭などが立退きを余儀なくされた際の緊急性を要する「安心住まい提供住宅」の空室は53室。うち38室が未修繕ですぐに入居できる状態になっていない。ただちに修繕すべき。

答 できる限り来年度に予算化し、修繕していく方向で検討。

問 若年層や単身者等に対象を広げた、家賃助成制度の創設をすべき。

答 公平性、費用対効果の面から総合的に検討すべき課題。

問 住宅修繕・リフォーム資金助成制度の昨年度の利用は、他区（大田区630件、品川区273件）と比べ、豊島区は5件と極端に少ない。区民が使いやすく、区内事業者の振興のためにも、所得等の要件を見直すべき。

答 見直す考えはない。

●子育て支援、子どもの貧困対策について

問 これまで就学援助の入学支度金の増額と入学前支給を求めてきた結果、来年度は小学校6万3千100円、中学校7万9千500円に増額となり大きな前進。さらに卒業アルバム代、中学校クラブ活動費など、他の費目も実態に見合うよう増額すべき。

答 増額は考えていない。

問 給食費は年間、小学校で5万円から5万6千円、中学校で6万3千円。特に多子世帯の負

担は大変重い。すでに他自治体でも実施されている多子世帯への補助を来年度予算化せよ。

答 盛り込む予定はない。

問 子どもの医療費無償化は子どもの命に直結するもの。18歳まで引き上げるべき。

答 引き上げる考えはない。

●障がい者施策について

問 目白福祉作業所及び生活実習所の通所バスの運行、増便について利用者、親の会から切実な要望が出ており、早急な対応が不可欠。区長は、「障がい者施策は重要な施策」「できる限りスピード感をもって対応」と言っているが、直ちに予算化せよ。

答 指定管理者の更新時の2020年度からバス増便を含めた総合的な対応を検討している。

●コミュニティバスの早期実現

**地域発！市民発！豊島区
のこれから**



民主ネット
村上 典子



コミュニティバス

担は大変重い。すでに他自治体でも実施されている多子世帯への補助を来年度予算化せよ。

答 盛り込む予定はない。

問 子どもの医療費無償化は子どもの命に直結するもの。18歳まで引き上げるべき。

答 引き上げる考えはない。

●障がい者施策について

問 目白福祉作業所及び生活実習所の通所バスの運行、増便について利用者、親の会から切実な要望が出ており、早急な対応が不可欠。区長は、「障がい者施策は重要な施策」「できる限りスピード感をもって対応」と言っているが、直ちに予算化せよ。

答 指定管理者の更新時の2020年度からバス増便を含めた総合的な対応を検討している。

●コミュニティバスの早期実現

問 区民の要望に応え、具体的に検討状況を示し、早急にコミュニティバスを運行すべき。

答 電気バス計画を進める中で、課題解決の時間が必要。現時点で早急に導入する考えはない。

問 (再質問) 区長は区民の願いに応え、コミュニティバスを走らせる方向で考えているのか。

答 コミュニティバスを走らせる方向で考えている。

まずはやさしい表現で要点を絞った情報発信をするよう意識付けを行う。

問 今後の文化政策をどのように計画していくか。

答 現行プランを検証・評価し、内容を精査、区民参加の意識を高めていくため、区民の意見をしっかりと聞き状況を把握する。

問 (仮称)西部地域複合施設の計画の進捗状況は。建築計画の凍結が延長されるのならば、絵画資料等を区民が鑑賞する機会の保障は。

答 計画変更も含め慎重に考える。当面、5階の庁舎まるごとミュージアムの展示スペース増設など様々な工夫をする。

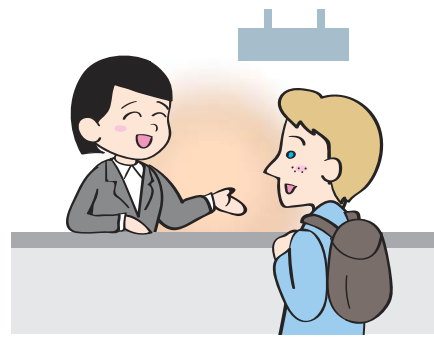
●基礎自治体の役割とは

問 羽田空港低空飛行ルート問題について、国土交通省から何らかの情報はあったのか。

答 第5巡目のオープンハウス型住民説明会が1月に開催予定。区としては、教室型説明会を引き続き要請している。

問 豊島区という基礎自治体の役割は。

答 住民に最も身近な生活全般にわたる施策を総合的に展開し、「オンリー・ワン」の自治体として、さらに質の高いサービスを提供していく。



やさしい日本語

将来を見据えて、子育て・教育環境を整え、地域の力を引き出し、安全安心なまちをつくる



都民ファーストの会
細川 正博

●人口ビジョンとインフラ整備の戦略について

問 豊島区人口ビジョンに最新データを反映させる予定と、今後の改定の基本的な考え方は。

答 人口推計は様々な政策検討のベース。先行して改定する。

問 学校施設の長寿命化計画策定における児童数の推移見通しと施設整備の考え方への影響は。

答 児童数は今後10年程度増加した後、減少に転じると予想。将来のまちづくり空間の創出を含めた計画を加えていく。

●インターナショナルセーフスクールとコミュニティスクールについて

問 これまでの認証校では、中学校ブロック内での横展開の動きをどのように進めているのか。

答 認証校が連携役・推進役を果たし、各ブロック内でデータ収集・分析方法等について、情報の共有・活用を図っている。

問 再々認証まで取り組んでいる朋有小学校が、同じ中学校ブロック内で果たしてきた役割は。

答 様々な面で先進的なモデルを示し、企画・実践・検証・改善のマネジメントの上でリーダー的役割を果たしてきた。

問 認証取得経費と労力の効率化のため小学校3校の現地審査を共同実施したが、その総括は。

答 スケジュールがタイトになつてしまった。今後は適切に行えるよう工夫・改善する。

問 申請書に関する審査員からの苦言についての見解は。

答 提出に係る不備の指摘であり、大きな成果を上げた子供たちや学校・地域の皆様に向けられたものではなく、たいへん心苦しい。今後改善していく。

問 教育大綱にはコミュニティスクールの導入が明記されているが、インターナショナルセーフスクールとの関係はどのように整理するのか。

答 両者にはきわめて多くの共通点がある。それを生かしてコミュニティスクール化を進める。

●無電柱化の推進について

問 足立区では歩道がない道路の無電柱化のため「チャレンジ路線」を設定した。区の取組は。

答 巣鴨地蔵通りでの取組が該当する。そこで採用予定の新技術が無電柱化推進計画の中で検討し、他地区での展開を図る。



無電柱化の推進

●千川増強幹線工事について

問 上池袋東公園の工事前フェンスに工事情報等を表示するよう都に働きかけるべき。見解は。

答 既に要請し、都が対応予定。

問 神田川流域の浸水予想区域図の改定内容を、区の洪水ハザードマップに反映させてほしい。

答 年度末を目途に作成し、ホームページでも周知を図る。